

日 時：令和元年 11 月 28 日（木）18 時 30 分 ～20 時 00 分

場 所：平成町コミュニティセンター

対象地区：平成

参加人数：15 名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○ごみ袋の収集について</p> <p>（市民から）</p> <p>ごみ袋に名前を書いていないと収集してもらえない。他の町会から持ち込まれることもあり、誰が置いていったか分からないものもあるので困っている。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・ごみ袋は、名前が書いていないものは収集しないことになっている。ごみの持ち込みへの対策として防犯カメラを設置しているところもある。防犯カメラの設置については、市民課に相談してほしい。名前の記入については、徹底されるようこれからも周知していきたい。
<p>○融雪溝の泥上げについて</p> <p>（市民から）</p> <p>サイセイの方から流れてくる深い水路があるが、そこにゴミがたまる。先日、建設課から連絡があり、町会の人と立ち合いのもと現場確認をした。その際に「川の泥あげ」「取水ポンプ前の泥上げ」「町会内の泥上げ」の3つの要望をした。12月1日に町会で融雪溝の掃除を予定しているので、それまでに対応してもらいたい。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・どこまでを市でやって、どこまでを町会にやってもらうのかを確認して、回答する。
<p>○集会施設の修繕について</p> <p>（市民から）</p> <p>この集会施設も建築から25年を経過し、外壁の劣化などが見られるようになった。町会の負担が大きくならないように修繕したい。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・令和4年度からは、おおむね30年を経過した、大規模改修が必要な施設の改修に取り組んでいこうと考えている。・町会の負担を考慮すれば、今は最低限必要な部分だけを改修して、30年を経過した段階で大規模改修を検討する方向がいいのではないかと考えている。

○補助金の提出書類について

(市民から)

防犯灯設置の補助金を申請した際に、実績報告の資料として通帳の写しが必要だと言われた。不要な部分は黒塗りにしてでも通帳の写しを提出してほしいとのことで、確かに要綱にも記載があったが、本当に必要なものか。

(市から)

- ・書類の簡素化について検討している。今年度は要綱に定められたとおりに対応してもらいたい。

○新体育館について

(市民から)

新体育館の駐車場は、大きなイベント等を開催する際でも足りるのか。また、駐車場に入るための道路が狭くないか。

(市から)

- ・ドーム、体育館、陸上競技場、プール全て一度にととなると駐車場が足りなくなる。これから新体育館の活用方法や、どのくらいの人に来て、駐車場がどのくらい不足するのかを考えていくが、不足になる場合は対応を考える。
- ・駐車場には町居方面から入ることになり、たしかに道路は狭いが、土地を買って拡幅するのも難しい。大型車がすれ違うことはできないが進入することはできる。大型車の進入にも支障がないように、必要な部分の隅切りも検討している。

○コミュニティセンターの避難所としての使用について

(市民から)

先日の台風の際、集会施設が災害時の自主避難所になり、健康センターでは自主避難所を開設しなかったと聞いている。どういった経緯でそのように決まったのか。また、今後そのまますのの方針なのか。

(市から)

- ・自主避難所はあくまでも一時的に避難する場所ということで、これまでは避難所には指定されていない健康センターで開設していた。今年から災害時の対応が変更となり、避難勧告や避難指示の発令といった状況から判断し、設定された1から5のレベルに応じた対応をすることになる。町会ごとに自主防災組織が設立されており、自主避難の場合は町会側に対応をお願いすることになるが、避難勧告が出た際には、避難所に職員を派遣するなど、市も加わって対応する。

○ねぶたの運行コースの変更について

(市民から)

ねぶたの運行コースが変更になると聞いているが、その進捗状況を教えてほしい。また、いつ変更されるのか。

(市から)

・ねぶたの運行団体からのご要望に応え、平賀駅前から県道大鰐浪岡線までの電線の地中化を進めている。平川市で開催予定の10市大祭典を見据え、他市の大きい山車を運行することも想定している。また、ねぶたの運行団体からは、県道大鰐浪岡線も運行コースにしてほしいとの要望があり、デイリーヤマザキ前の交差点の電線の地中化、そして、警察署からの指示で、歩道へのフェンスの設置も進めている。これらの対応が済めば、運行コースを延長することができる。

(市民から)

県道大鰐浪岡線での運行を想定しているとのことだが、交通規制やう回路の確保の難しさを考えると、現状の運行コースをまっすぐひらかドーム方面に延長しても良いのではないか。

(市から)

・そちらのルートも検討したが、道路幅の狭い部分もあり、沿道にどのくらいの観客が集まるかを想定すると、県道大鰐浪岡線を運行するのが良いと考えている。

○平川市の少子高齢化への対応について

(市民から)

市として、転入者の増加や宅地の開発について、どのような施策をしているか。

(市から)

・市街化調整区域に農家以外の方なども住宅が建てられるよう、緩和区域の指定をして開発を進めている。また、民間による宅地開発については、道路の設置に補助金を支出して支援している。

○通学路の横断歩道について

(市民から)

荒田地区から小和森地区へ向かう道路を小和森小学校へ通う児童が歩いているが、横断歩道が柏木農業高校前駅付近の1か所しかない。新たに設置できないものか。

(市から)

・荒田町会からも要望が出ている。横断歩道の設置は難しいが、縁石を切ることができないかという検討を始めている。

○市民歌について

(市民から)

夕方に市民歌が放送されているが、市内の小、中学生が歌っているものがあれば、活用する場面が増えるのではないか。

(市から)

- ・教育委員会で検討してもらう。

○雪捨て場について

(市民から)

自宅の前に雪が溜まる場所があり、雪が溢れるたびに市役所に連絡して排雪してもらっている。どういった判断で排雪されるのか。雪が溢れる前に対応してほしい。

(市から)

- ・場所を確認して対応する。

○歯科検診について

(市民から)

市で実施している歯科検診を、もう少し早い年齢から始めて、5年くらいの周期で実施できないか。

(市から)

- ・歯科検診については、現在、40歳、50歳、60歳、70歳と10歳刻みの年齢を対象としている。これは、市内歯科医院の検診の受け入れ体制や実施に係る予算などを考慮したものである。

○郷土資料館の活用について

(市民から)

郷土資料館がリニューアルしたが、市内の小・中学生も活用できるようにしてほしい。

(市から)

- ・担当課に伝える